

千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度資源状況

ホンビノスガイ



- ・ 大まき、小型機船底びき網などで漁獲される。
- ・ 海外では100歳を超える事例が報告されているが、東京湾では最大で13歳程度である。早ければ1年で殻長30mmに達する。
- ・ 産卵期は、東京湾では春～秋季の年2回（春、秋に稚貝が加入する場合が多い）と報告されている。

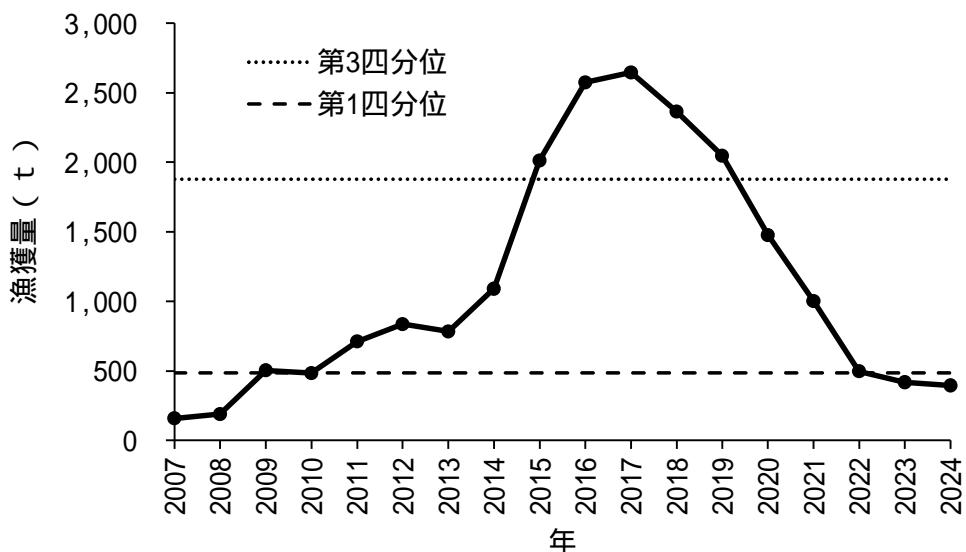
資源状況

水準：低位	動向：減少

注）資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値（漁獲量）から四分位数により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源状況の指標値

- ・ 資源水準及び動向は、2007年以降の漁獲量で判断した。
- ・ 2024年の資源水準は低位、最近5年間の資源動向は減少傾向にある。



内湾主要漁協における漁獲量の経年変化（千葉県調べ）

漁獲量

- ・ 内湾主要漁協におけるホンビノスガイ漁獲量は、2007年の159tから増減を繰り返しながら増加していたが、2015年から急増し、2017年には2,646tに達した。その後、減少し続け、2024年は396tであった。

資源管理の取組

- ・ 大まき漁業では漁獲量、操業時間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている。
- ・ 小型機船底びき網漁業では網目制限、漁獲量、操業時間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている。